



学校公開

11月7日(土)

本校の学校公開は、「いばらき教育の日」の趣旨に基づき、県民の学校に対する関心と理解を深めるため、学校を公開する目的で実施されます。午後から行われた授業公開(4時限目～6時限目)と授業時間に合わせた学校説明を3回実施しました。放課後には、各部の澆刺とした各部の活動を見ていただきました。

公開の時間帯を広くとったこともあり、3密を回避することができました。参加された皆さんにもご協力いただきありがとうございました。



校長挨拶要旨



下妻一高の活動は「不易・流行」。どんなときにも変わらない本質的なことを軸として、新しいものでもそれが良いものであれば、恐れず取り入れることを実践する。

下妻一高の「不易」は、一言で表せば「文武不岐」。高校生として大切にすべきことは、学習に励むこと。部活動や学校行事にも積極的に参加すること。どこの学校でも言われているあたりまえのことだが、確実にこなすことは、意外に難しい。下妻一高は、123年の歴史と伝統に育まれながら「文武不岐」を高いレベルで達成することで総合的な人間力を鍛える学校を指向している。

「流行」について。約20年前に生徒達の能力や意欲をより引き出そうと考え、進路指導や生徒指導を大きく変えた学年があり大きな成果を上げた。その流れは学校全体で継承され現在まで受け継がれている。進学面では、19年連続で難関校を含めた国公立大学合格者100名以上達成。これに加えて6年前からは「光プロジェクト」を立ち上げ、生徒一人一人の進路実現をきめ細かに支援する事業を展開。

いつの時代においても「文武不岐」の精神をかかげ、前進を止めないことで、学習面と運動面の相乗効果を成し、活気にあふれた学校活動を展開。

来春、本日参加の皆さんがこの場所で入学式を迎えることを楽しみにお待ちしております。

